



みやじ郷づくりで取材させていただきました。

今回は子育て支援部会の米山部会長にお話をうかがいました。

みやじ郷づくり 子育て支援部会について

子育て支援部会の活動は宮司地区の子どもとその保護者なら誰でも参加することが可能との事で子ども会に入っていないなくても参加することができます。

地域委員の方とも協力しており、広く声掛けをされているそうです。

気軽に楽しめますので、ぜひ参加してくださいとのことでした。

また、現在の子育て支援部会のメンバーは部会員7名、ボランティアが2名の合計9名で構成されており新たに参加できる方や、ひとつの行事限定でも構わないのでお手伝いしていただける方を募集しているそうです。

現在は、他の部会と共同で企画を行っており、大人も楽しみつつ、子どもの学びにつながるイベントを進めているそうです。

今後も、子育て支援部会を通して、子どもたちの成長や地域とのつながりを大切にしながら、皆が楽しめる憩いの場となるような活動に取り組んでいきたいと話されていました。



取材や活動に参加した市職員の感想

- 米山さんへのインタビューを通して、宮司郷づくりの活動の奥深さを知ることができました。コロナ禍ではありますが、感染対策を実施した上で子どもたちがいかに楽しく、地域の方と交流を持ちながら活動できるかを日々考えられていて、そのアイディアの一つ一つが素晴らしかったです。自分自身も、地域活動への参加について積極的に考えるきっかけにもなりました。
- 近年、地域との関わりが希薄になりつつある中、地域で支え合う関係を築ける“郷づくり”という場があることが、いかに貴重であるかということ、そして活動の裏に委員の皆さんの様々な働きがあることを知り、みやじ郷づくりの人の温かさを感じました。
- 今回芋掘り体験に、家族で参加しました。初めて参加したにも関わらず皆さんには暖かく接していただきました。芋掘りも親子で楽しむことができ、学びのある素晴らしい体験をさせていただきました。

●今回みやじ郷づくりの活動について、子育て支援部会の米山さんにお話を伺いました。

子育て支援部会の中でも、米山さんは郷づくり発足当初から活動されており、今年でなんと15年目を迎えます！

また以前民生委員をされていたため、主任児童委員として子どもたちのサポートをしていた経験があり、現在の部会の活動にもつながっているそうです。

米山さんは、各種イベントの企画・準備から実施・片付けまで全てを行っています。

最近は新型コロナウイルス感染症対策から、屋内での活動ができないこともあり、屋外活動を中心に、芋掘り体験や昆虫調査など、子どもたちの経験になることを積極的に取り入れています。

芋掘り体験も、単純な芋掘りだけにとどまらず、「苗植え体験」から始まり、「つる返し」という芋を大きくするための作業の体験もあり、「自分が植えて育てた芋を収穫して食べる」といった全体の流れを通して、農業の大切さや食のありがたみを感じてほしい」と話されていました。



11/14 芋掘り体験の様子